

未来に手渡す、4万年の命の営み

奥びわ湖・山門水源の森

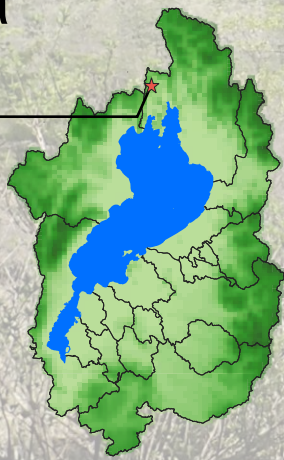
山門水源の森を
次の世代に引き継ぐ会

「山門水源の森」がもつ保健休養機能や水源かん養機能の維持・向上
および、山門水源の森の活用ならびに山門湿原の保全を図る活動をし
ています。

場所：滋賀県長浜市

面積：63.5ha

奥びわ湖・山門水源の森



しが生物



サイト概要

山門水源の森は滋賀県長浜市北西部に広がる63.5haの森と
湿原で、4万年以上の高層湿原と冷温帯・暖温帯植物が共
存する貴重な自然です。2001年に住民が保全団体を設立。
水源保全や再生、教育活動を継続。放置やシカ食害で悪化
した生態系も防獣対策などにより回復へ向かっています。

地域との連携

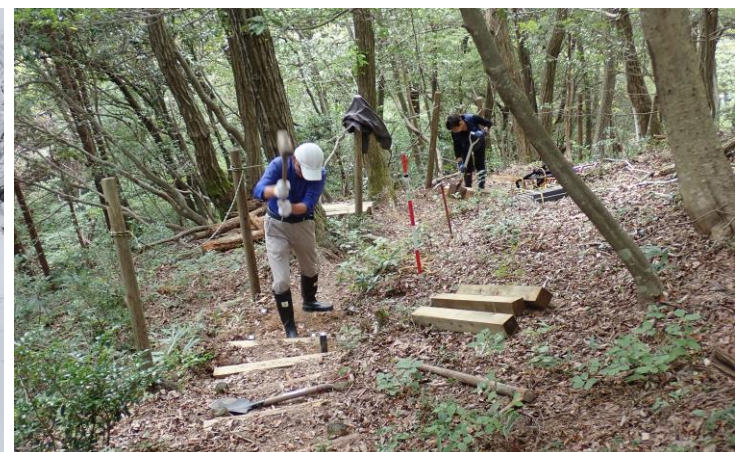
近隣の学校や研究機関、地域住民、環境団体などと連携
し、多様な学習・調査・保全活動を進めています。学校と
の協働では、地層観察や自然観察、保全活動体験などの学
習プログラムを実施し、児童・生徒が自然への理解を深め
る機会を提供しています。また、大学や専門機関とは生態
系モニタリングや植生調査などを共同で行い、科学的な
データに基づく保全に役立てています。さらに、地域住民
やボランティア団体とは、観察コースの維持管理や外来種
除去などの作業を通じ、森を守る体制を地域全体で支えて
います。こうした幅広い連携が、森の価値を共有しながら
次世代へとつなぐ基盤となっています。

生物多様性の状況

湿原を象徴する植物 ミツガシワ(群落は県条例指定の生
育地保護区)。**森林を代表する樹木** ブナ・ミズナラ(冷
温帯の象徴)、アカガシ(暖温帯要素、山車材の育成を実
施)、ヒノキ林(1980年代植林)、ユキバタツバキ(局所
的に密生)。**哺乳類** ツキノワグマ(センサーカメラによる
出没調査を継続)カヤネズミ(営巣環境の保全を実施)
ニホンカモシカ(2014年以降未確認)。**鳥類** クマタカ
(採餌地、渡りルート)鳥類は61種を確認。**両生類・爬虫
類** モリアオガエル(多数産卵し、毎年産卵開始日を調
査)両生類8種、爬虫類6種を確認。**昆虫類** トンボ類は50
種以上を確認。ギフチョウ(2011年以降未確認)昆虫類は
270種、クモ類213種を確認。

活動の内容

山門水源の森では、湿原と二次林の豊かな生態系を守るため、シカ対策や外
来種除去、観察コース整備などの保全活動を継続し、水質や希少種の調査も定
期的に実施しています。またビオトープ整備やガイド活動を通じて来訪者にこ
の森の生物多様性の豊かさを伝え、森の価値を次世代へつなぐ環境教育にも力
を入れています。



ネイチャーポジティブに向けてのメッセージ

山門水源の森では、「多様性豊かな森と人々の活動が、未来へと連
なっていくように」という思いを胸に、日々の保全作業を進めています
。水源を守り、生きものの営みを支える地道な取り組みは、小さく見えて
も確かな手応えがあります。近年は学校や地域と協働する機会も増え、森
を介して人と自然の関係が深まっています。これからは、次の世代がこ
の“森と人のつながり”に
関心を寄せ、自然のバトンを受け
継いでいけるような学びと体験の
場づくりをさらに広げていくこと
が重要です。訪れる皆さまには、
この森が持つ静けさと生命の豊か
さをぜひ感じていただければ幸い
です。

